

# TOSHIBA

Leading Innovation >>>

## 東芝メディア機器(株) 2008年度環境報告書



# 東芝メディア機器株式会社 (TOMD)



# 会社概要

Confidential

商号： 東芝メディア機器株式会社  
本社（工場）： 〒037-0003  
青森県五所川原市大字吹畑字皆瀬19番地  
代表者： 代表取締役 仙道 輝夫  
設立： 1973年(昭和48年)10月 1日  
資本金： 950百万円(株主:東芝100%)  
関連会社： 東芝三沢メディア機器(株)【青森県三沢市】  
従業員数： 456名(2009年1月現在)  
事業内容： デジタル機器の開発・量産設計、部材調達、  
試作・量産製造、サービス。  
プロジェクター製造、HDD基板・TV基板の実装。  
(株)東芝DVDプレーヤーに関する問い合わせ窓口。  
国際規格認証取得： ISO9001/ISO14001

## [2008年度1月までの累積]

年間消費電力量： 181.2万(kWh/年)  
燃料使用量(原油換算)： 灯油 5.1 (KL/年)、LPG 3.6(KL/年)  
揮発油(ガソリン) 3.3 (KL/年)  
軽油(ディーゼル) 8.0 (KL/年)  
市水使用量： 5.4(Km<sup>3</sup>/年)  
廃棄物総排出量： 78 t  
埋立廃棄物： 0.09 t

1970~

- '73/10 「津軽東芝音響株式会社」を設立  
\* 東芝が中道オーディオより営業権譲り受ける

1980~

- '78/04 磯子分工場を設置 [現在は(株)東芝 生産技術センター]
- '84/02 「有限会社津軽テクニカ」設立

1990~

- '91/11 資本金2億円に増資
- '96/07 「東芝メディア機器株式会社」に社名変更
- '96/10 資本金4億9千万円に増資
- '96/11 「東芝三沢メディア機器株式会社」設立

2000~

- '97/11 品質保証システム ISO9001 認証取得
- '98/09 環境保全システム ISO14001 認証取得
- '04/09 「株式会社津軽テクニカ」解散
- '07/03 資本金9億5千万円に増資

## 1970~

- '73/10 ハイファイカセットデッキ
- '78/04 チップ搭載シンセサイザーラジオ

## 1980~

- '79/05 東芝ヘッドホンステレオ「WALKY」
- '87/10 液晶TV(カシオ社向)
- '88/12 ヘッドホンステレオ(ソニー社向け)

## 1990~

- '89/12 CD-ROM Drive
- '90/04 パソコン用PC板(ブック型)

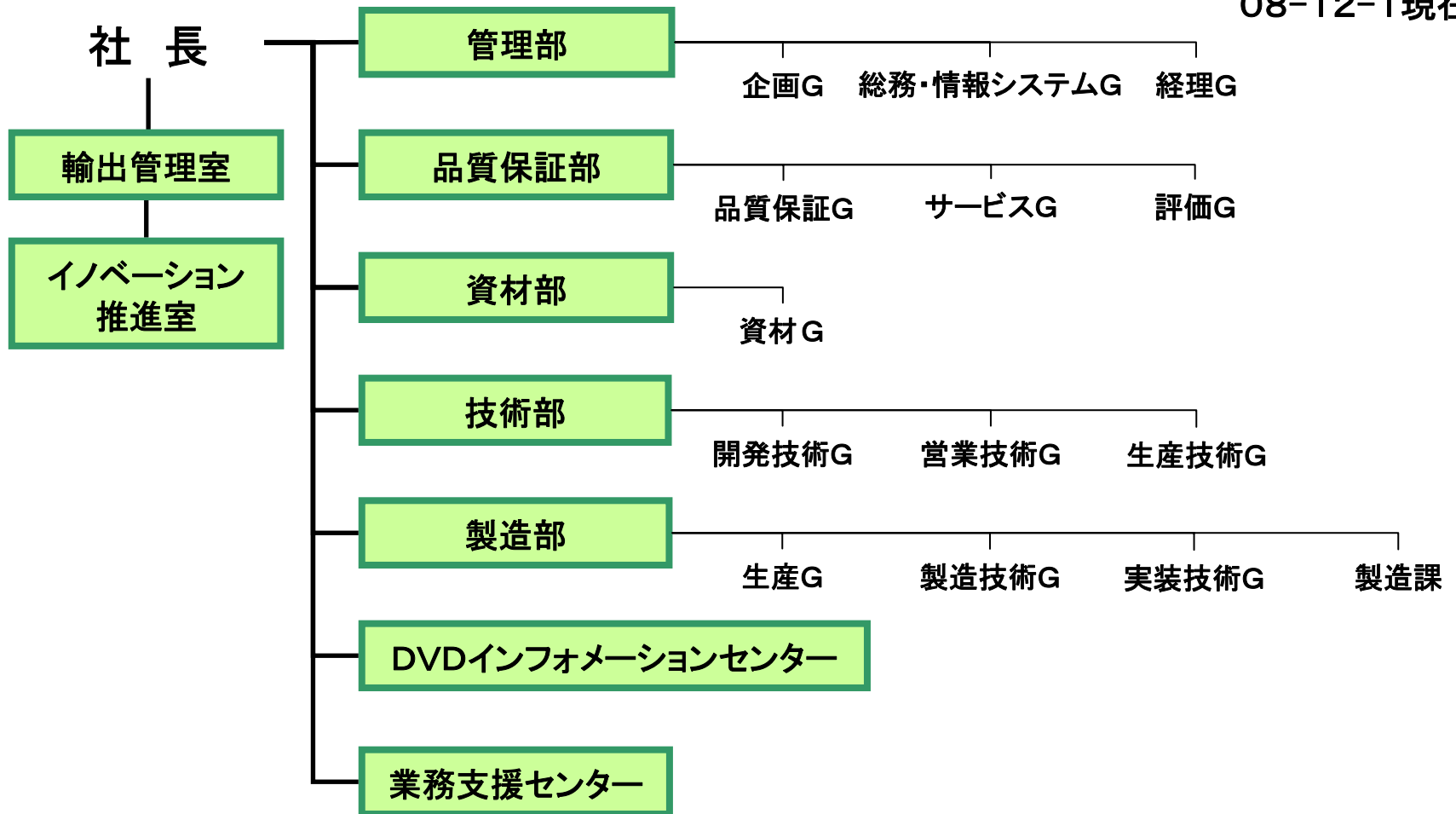
## 2000~

- '91/01 VTR用ヘッド
  - '00/04 光ピックアップヘッド
  - '03/09 小型プリンター(理想科学社向)
  - '05/12 Link Tuner(I/O社向け)
  - '06/02 HD DVDプレーヤー
  - '06/08 HDD基板
  - '08/06 TV基板
  - '08/10 プロジェクター
- DVDインフォメーションセンター開設

# TOMD組織

Confidential

'08-12-1現在



# 工場レイアウト

Confidential

'09-01-05現在



# 環境方針

Confidential

東芝メディア機器株式会社は、「“かけがえのない地球”環境を、健全な状態で次世代に引き継いで行くことは、現存する人間の基本的責務」との認識に立って、環境保全活動を次により推進します。

1. 環境保全に関する法令・規制及び関連する青森県条例及び協定を遵守します。

2. 環境目的・目標の設定及び見直しを行い、継続的な改善活動を実施します。

3. 地域の自然環境に配慮し、汚染の予防に努めます。

4. グリーン調達を推進し、環境の悪影響を及ぼす化学物質の適正な管理及び使用量の削減に取り組めます。

5. 省エネルギーを推進します。



(1-2. 環境目的・目標)

## 2008年度東芝メディア機器(株)環境目的・目標に対する実績

環境目的	環境目標	施策 [スケジュール][手段、納期]	実績
1.環境分析での試験所品質システム構築への取り組み	1.1) ISO/IEC17025システム構築(2008年度中)→(09上期) 認定審査の申請はシステム施行後、 3ヶ月間の実績が必要	1.社内体制確立 2.認定基本事項の決定 3.規格17025の理解 4.認定手順の理解 5.認定予定項目の決定と関連規格の勉強 8.品質マニュアルの作成 9.測定の不確かさ検討	試験所マニュアルの作成 各規定の作成完了  問題点 計量線の直線性が出ないので確認が必要
2.地球温暖化の防止	2.1) 空調設備部分更新によるCO2排出量削減 →現状設備の性能維持	省エネエアコンへの更新の検討	予算的に厳しく次年度以降へ先送りとなった。→現状設備の性能維持
3.廃棄物ゼロエミッションの推進	3.1) 廃棄物の3R向上を図る 2007年度実績値:99.8% 91.608t(リサイクル量)/91.752t(廃棄物排出量) 2008年度目標値:99.8%以上	①3Rに対する従業員の理解と意識向上を図る	2008年度実績値:99.8%以上で目標達成
	3.2)複写費(コピー用紙等)の削減 2007年下期の経費:1,047千円、 月毎の平均経費174.5千円 月毎の経費削減目標:174.5千円×10%=157千円以下	①紙の使用量を少なくするため、両面コピー使用、書類は電子媒体での保管、会議資料はプロジェクターの活用等でペーパーレスに努める。	4月～9月で目標値を下回り目標を達成した。
	3.4)間接人員一人当たりの複写費の削減2008年度上期実績(¥4,822)に対して20%(¥964)の削減964÷5ヶ月=¥193・・・1ヶ月で¥193削減できれば良い	①コピー機のカラー印刷制限、及び使用そのものの抑制②リサイクルトナーの使用推進	11月から新規実施しているが、月でのバラツキが大きく測定法の見直し検討中

(1-2. 環境目的・目標)

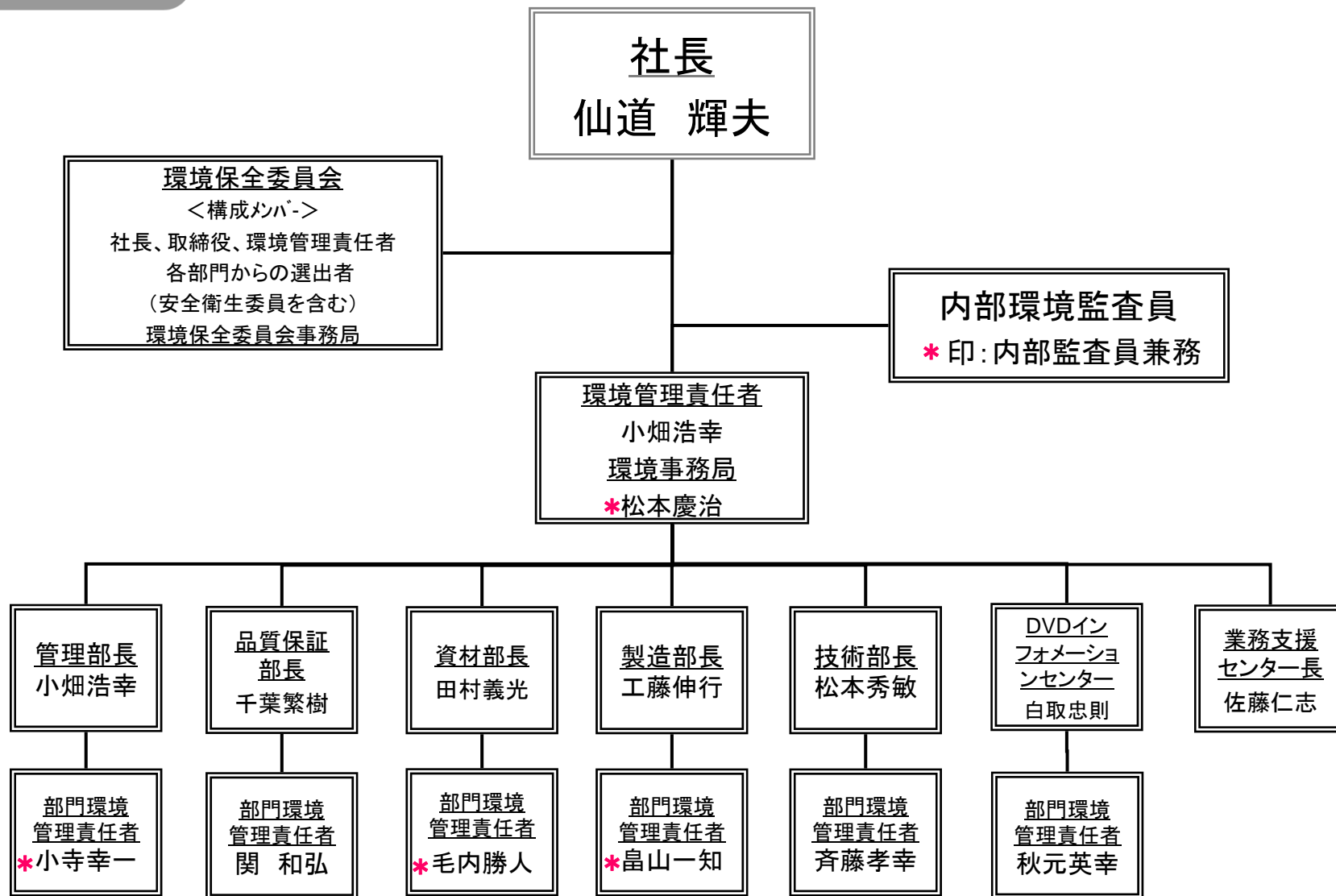
## 2008年度東芝メディア機器(株)環境目的・目標に対する実績

環境目的	環境目標	施策 〔スケジュール〕〔手段、納期〕	実績
4.製造工程における 環境負荷低減 (CO2・廃棄物・化学物質の 排出量削減)	4.1) HDD基板の品質向上 2007年度3月1.8inch、FT工程歩 留実績値 : 2406dpm (この歩留実績値は設計要因を 含むため、 4月以降製造要因のみ捉えた歩 留実績で算出) 2008年度歩留目標値 : 1000dpm 以下	①フィードバック体制の確立による不良 解析のスピードアップと精度向上を図 る。	目標値を達成できる見 込みである。
5.地域社会との 環境コミュニケーションの 積極的な活動	5.1) 従業員によるボランティア活動とし て、 工場周辺のゴミ拾い(1回/年)	①工場周辺のゴミ拾い	2008年9月下旬に実施
	5.2) 緑化推進の一環として、従業員参画による 緑の羽募金の実施(毎年5月)	①緑の羽募金の実施	2008年6月に実施
6.環境汚染の未然防止 (地球温暖化の防止、 資源の有効利用も含む)	6.1) 定期的に工場の環境負荷施設・ 職場フロア-の環境点検実施によ る 省エネルギー・資源有効利用の推 進と	①環境点検チェックシートによる環境負 荷施設・職場フロア-の点検実施	各部門にて実施
7.水質汚濁対策の推進	7.1) 各放流水及び地下水の汚染状 況を 監視するため、業者に依頼し、 調査(採水)を行う(2回/年実 施)	①定期的に各放流水及び地下水の 調査(採水)をする。 厨房浄化槽の放流水、トイレ浄化 槽の放流水、1号棟と2号棟の中間 測定井戸	2008年7月及び2009年1 月の2回実施で異常無し

(1-2. 環境目的・目標)

## 2008年度東芝メディア機器(株)環境目的・目標に対する実績

環境目的	環境目標	施策 〔スケジュール〕〔手段、納期〕	実績
8.環境規制への対応	8.1) PRTR法に基づく特定化学物質管理の促進(使用量報告実施…毎月)	①化学物質使用量の把握	各部門にて実施
9.環境教育の推進	9.1) 環境保全意識の向上	①一般従業員教育 環境方針及び環境目的・目標等の周知を目的とした教育、 グリーン管理に関する教育、その他	各部門にて実施
10.緊急・異常事態への対応	10.1) 緊急・異常事態対応訓練の実施	①灯油タンクから灯油流出を想定した緊急事態対応訓練、 コンプレッサからオイル流出、溶剤流出を想定した異常事態訓練	2009年3月実施



## (1-4. 環境マネジメントシステム)

### 環境マネジメントシステムの登録状況

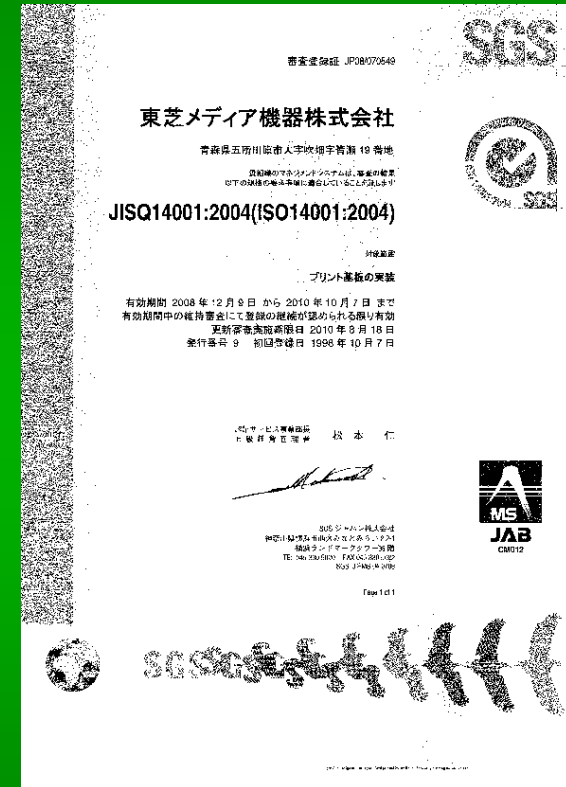
#### ISO14001維持審査

1. 実施日：2008年10月21日～22日
2. 審査員：1名
3. 結果：観察事項4件
4. 総合評価：登録継続

#### 内部環境監査

1. 実施日：2008年9月30日～10月14日
2. 対象部門：6部門
3. 監査結果：不適合0件、注意1件

#### 環境保全システム



ISO 14001 認証登録書  
(2004年度版認証取得)

(1-5. 環境会計1/3)

## 2008年度環境会計集計表

●環境保全コスト

(単位:千円)

分類		内容	当期費用
事業エリア内 コスト	①公害防止コスト	大気、水質、土壌汚染防止など(水質測定)	2,099
	②地球環境保全コスト	温暖化防止、オゾン層保護など(恒温槽廃却によるフロン破壊費用)	—
	③資源循環コスト	資源の有効利用、廃棄物減量化など	4,664
管理活動コスト		環境教育、会議、監査など	2,357
研究開発コスト		環境調和型製品開発など	—
社会活動コスト		地球環境支援、寄付など	8
環境損害コスト		土壌汚染修復など	—
合計			9,128

(1-5. 環境会計2/3)

## 2008年度東芝メディア機器(株)環境設備投資計画

①合併浄化槽の新設の検討と厨房排水、浄化槽 排水、  
雨水排水の放流口の本化の検討:見込み額 ¥30M

②厨房排水処理施設の防液堤設置の検討  
:見込み額 ¥6.8M

③一号棟空調施設更新の検討  
:見込み額 ¥15M

2009年度以降実施

## 環境関連有資格者／環境関連人員

### ◆環境関連資格保有者

法廷資格		所属/役職	資格保有者名
種類	適用基準・要件		
特別管理産業廃棄物 管理責任者	特別管理産業廃棄物を 排出する事業所	[管]総務担当	小寺 幸一

### ◆環境関連人員

(年度)

		2005		2006		2007		2008		2009
		計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画
環境 保全 担当	環境関連事務局	1名	1名	1名	1名	1名	1名	1名	1名	8名
	環境関連事務局補佐	0名	0名	0名	0名	0名	0名	1名	1名	
	部門環境管理責任者	5名	5名	5名	5名	5名	5名	6名	6名	
	計	6名	6名	6名	6名	6名	6名	8名	8名	8名

(2-1. 構造物)

## 環境構造物指針改善状況

構造物名	2008年度		2008年度 改善箇所
	改善済み (箇所数)	改善率	
厨房排水処理施設	3/3	100%	5月 ポンプ配管メンテ、交換 8月 フロート交換 9月 枠の洗浄実施
油水分離槽	0/1	0%	油水分離槽(タンク)への防液堤設備 六面点検化、床面の耐薬品塗装は未実施 予算凍結により来年度以降へ繰り延べ

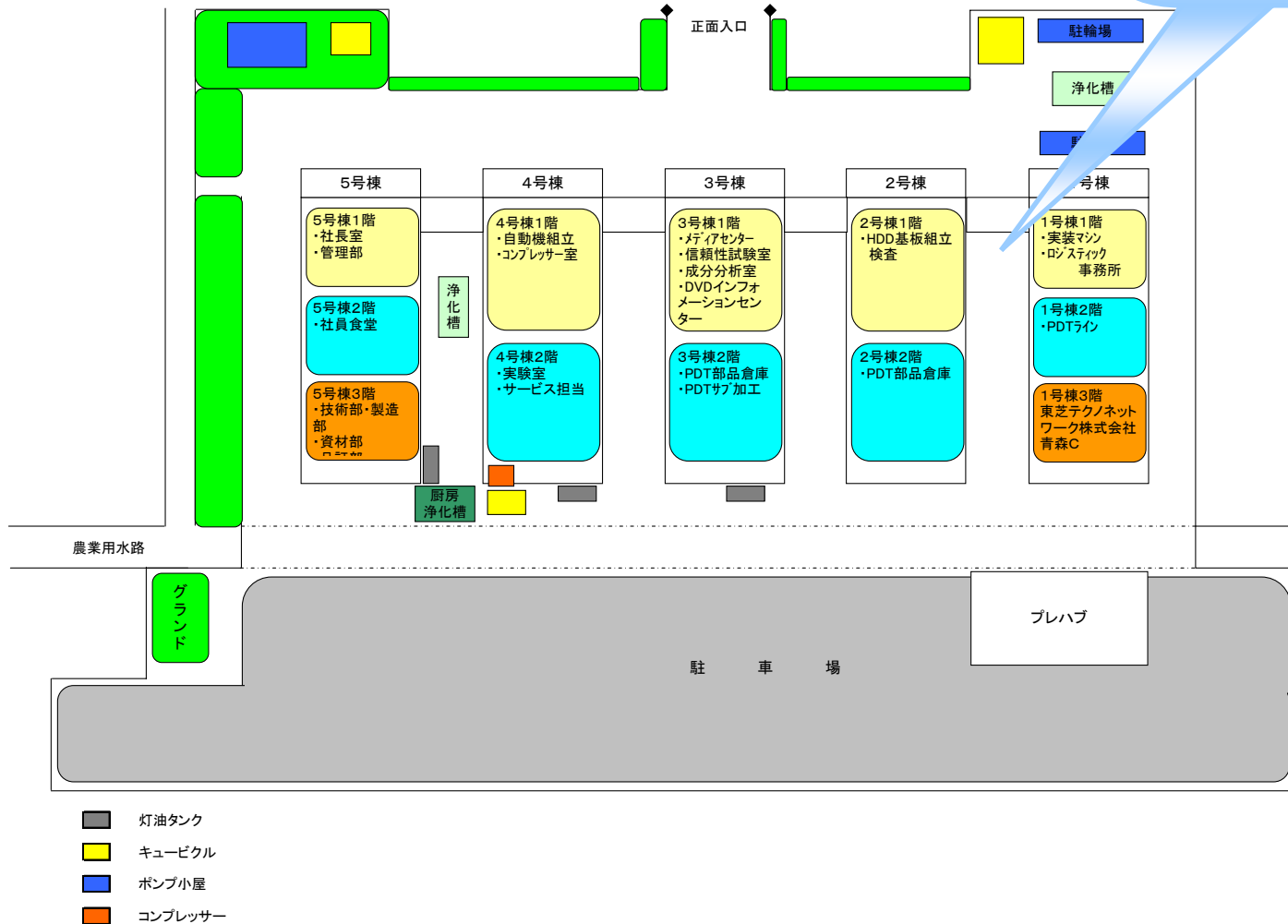
来年度以降実施

(2-2. 土壌汚染、2-3. 地下水汚染)

## 建屋土壌採取及び地下水測定井戸マップ

東芝メディア機器 レイアウト

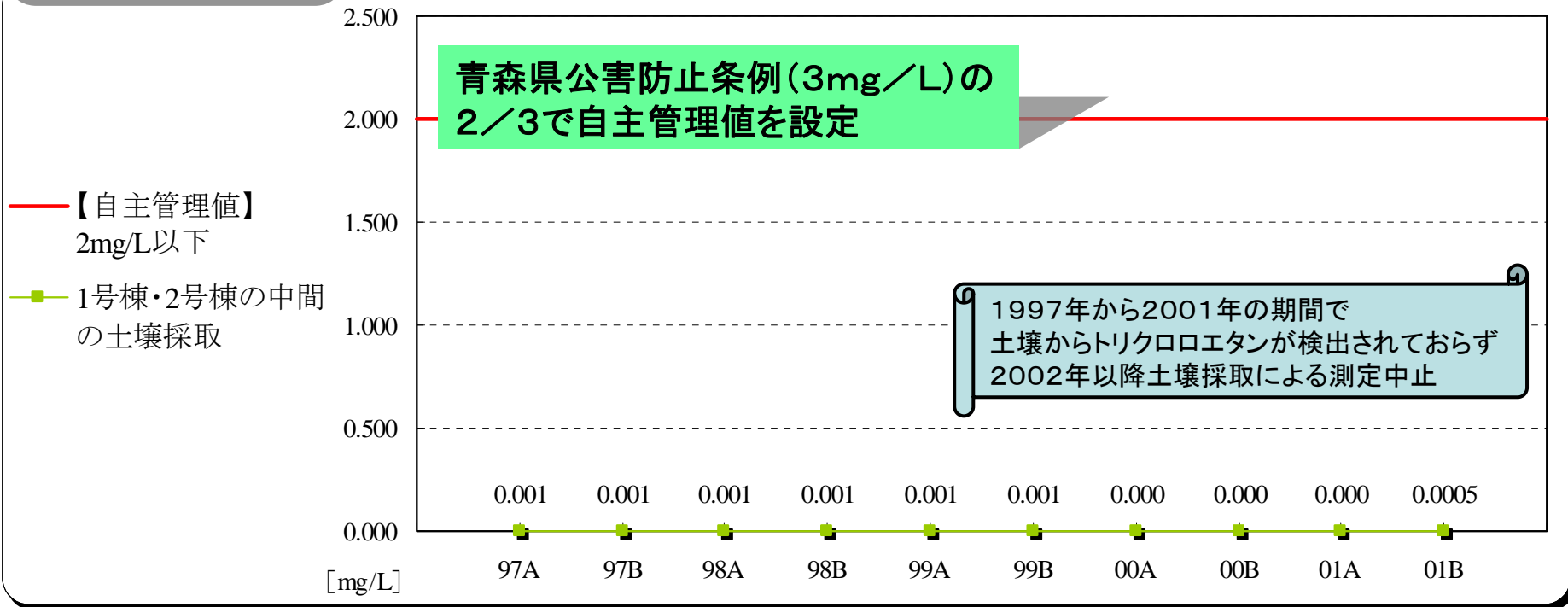
建屋土壌採取及び  
地下水測定場所



(2-2. 土壌汚染)

## 建屋土壌採取結果 (1997年～2001年)

### トリクロロエタン



## (2-3. 地下水汚染)

### 地下水分析結果

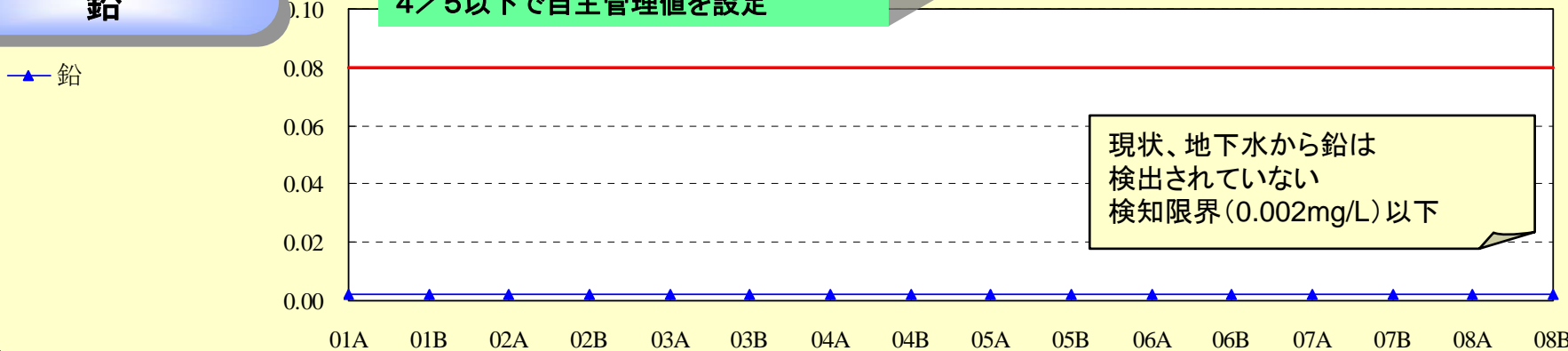
#### トリクロロエタン

青森県公害防止条例(3mg/L)の  
2/3以下で自主管理値を設定



#### 鉛

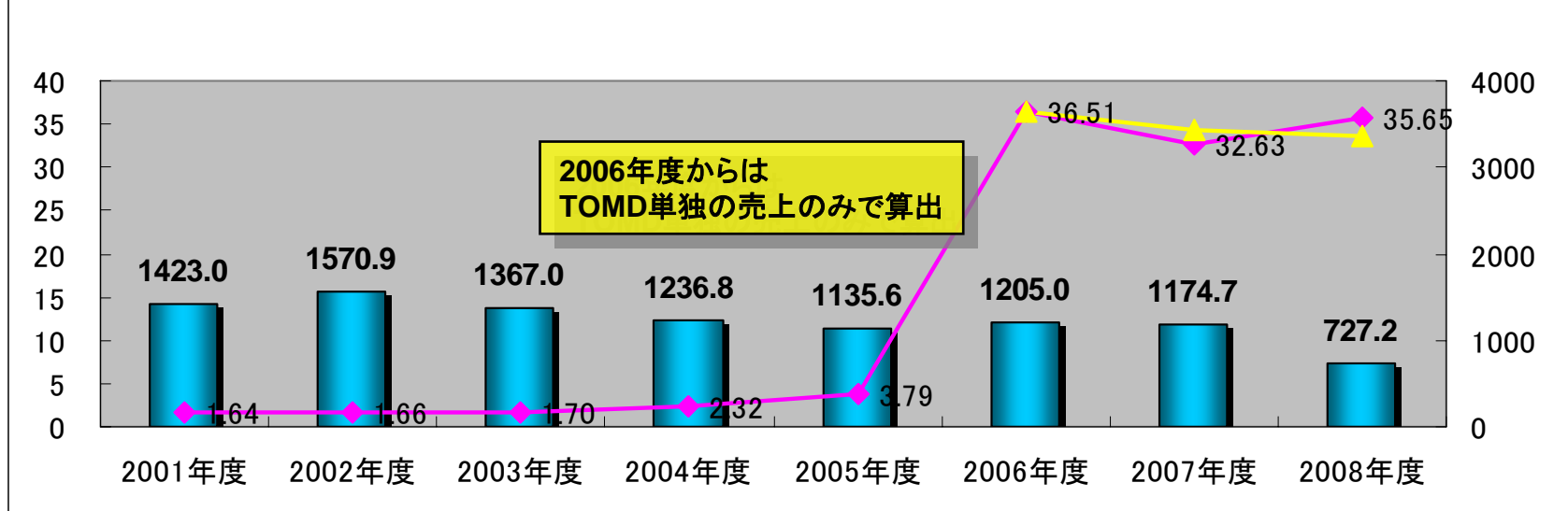
青森県公害防止条例(0.1mg/L)の  
4/5以下で自主管理値を設定



## (3-1. 温暖化対策)

### CO2排出量の削減

■ CO2排出量 ◆ 原単位実績(売上高) ▲ 2006年度基準\_削減目標値



98/02~ 各部門にて昼休み時間の消灯

歩留り改善による電力使用量削減

エアコン温度管理・不要時の消灯、離席時のPCモニター電源OFF等

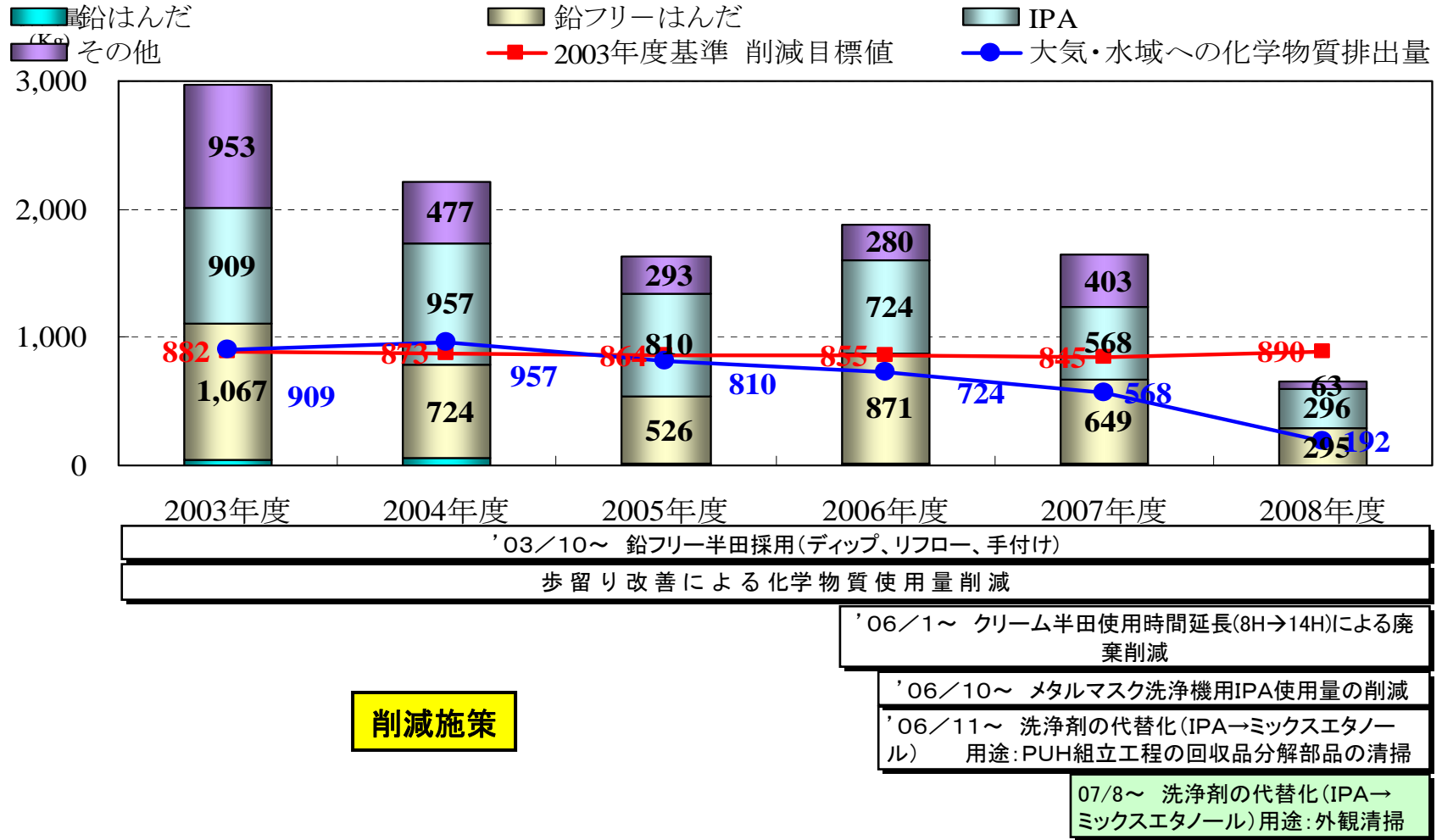
03/08~ 省エネ型機器の導入 (省エネ型エアコン、照明器具)

### 削減施策

06年度 スペース有効活用 (金山部品Cの本社集結、ラインの間締めによる電力使用量削減)

08年度 不使用エリアの照明間引き、エアコン温度管理の徹底

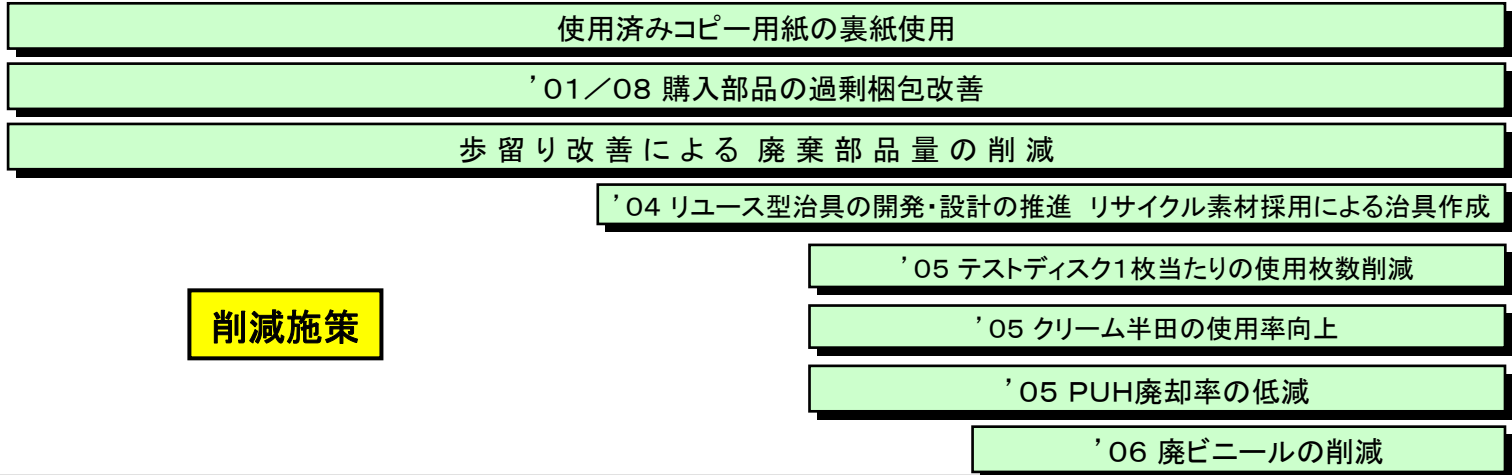
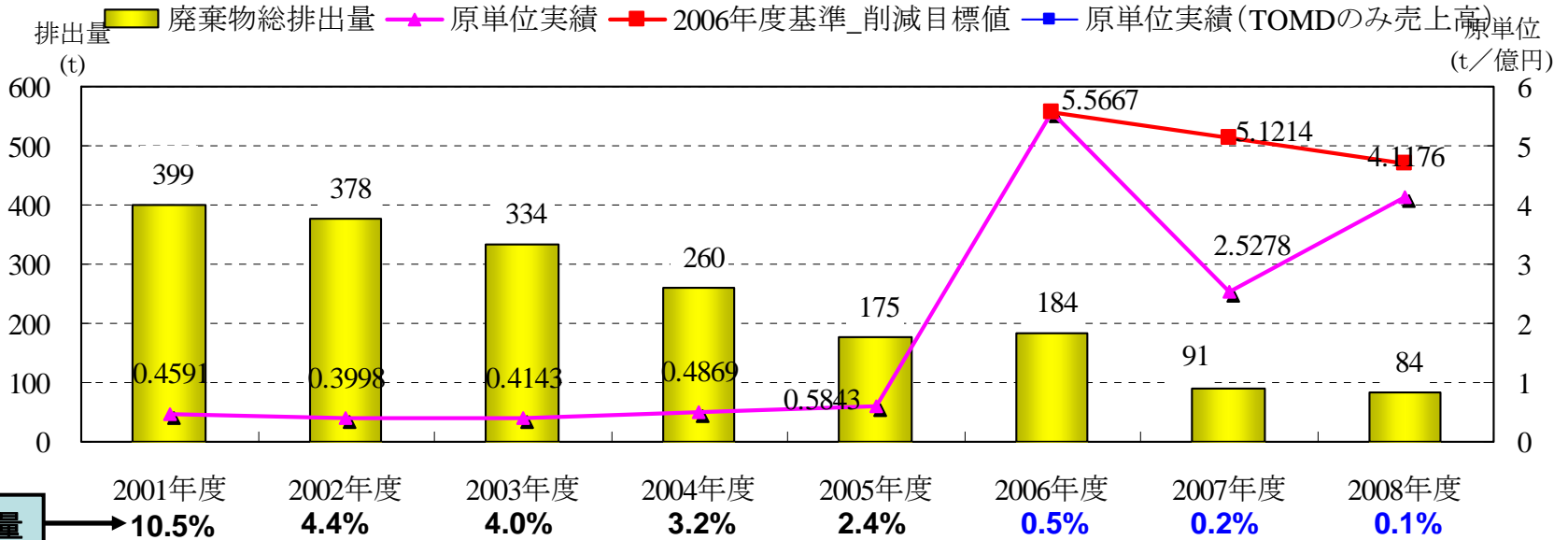
## (3-2. 化学物質リスク削減) 化学物質排出量の削減



(3-3. 廃棄物削減・リサイクル)

2006年度からは  
TOMD単独の売上のみで算出

## 廃棄物排出量の削減



削減施策

(3-4. 物流、自保有車1/2)

## 製品物流に伴うCO2排出量の削減目標

\* 2000年度基準で2010年度に実質生産高原単位で25%削減

\* バウンダリ: 国内生産拠点

【カンパニー・拠点の目標設定】

・名目生産高原単位で年3% (委託物流算定開始した2004年度基準で可)

【2006年度製品物流に伴うCO2排出量の削減への施策】

・当社から成田までの国内製品輸送回数の見直し(2005年度12便/月 → 2006年度 6便/月)

・国内から海外生産部材の直納化('06下期)、香港WHへの直納による輸送CO2削減

【2007年度製品物流に伴うCO2排出量の削減への施策】

・HDD輸送便を11t車から4t車へ変更(2007年9月～)

1年間での輸送CO2削減効果見込み …改善前(10t車)      改善後(4t車)  
298. 848t      →      105. 504t

【2008年度製品物流に伴うCO2排出量の削減への施策】

・10月からPDTの生産を開始したが、あふれ部材の対応が必要となりTV基板部材との相互運用とすることで、宅配便使用分及びPDT部材とTV基板部材を1台に搭載する事ができた。この事で便数を半減できCO2換算で10月当初に比較して8491kg削減できた。(12月末)

(3-4. 物流、自保有車2/2)

## 自保有車

車両番号	車検満了日	車名	型式	年式	エンジン型式	備 考
青森400 さ 9665	H19.11.29	トヨタ タウンエース	KJ-CR52V	H13.11	3C	-
青森40 め 704	H20.7.30	スズキ エブリジョイン	LE-DA52V	H14.7	K6A	H12年度騒音規制車 H22年度燃費基準達成車
青森300 た 4328	H20.3.30	日産 エルグランド	UA-NE51	H15.3	VQ35	H11年度騒音規制車 H22年度燃費基準達成車
青森200 さ 205	H19.4.16	日産 シビリアン	KK-BHW41	H13.4	TD42	来客者、出張者送迎用バス
青森300 と 874	H21.7.24	スバル レガシィ	CBA-BP5	H18.7	EJ20	H10年度騒音規制車 H22燃費基準5%向上達成車

(3-5. 第4次VEP設定状況)

## 第4次ボランタリープラン

項目	指 摘	2010年 全社目標	2010年 TOMD目標
製品環境効率の向上	ファクターT	2.2倍	—
環境調和型製品の提供	環境調和型製品の 売上高比率	60%へ拡大	—
	特定有害物質の廃止	製品に含まれる特定15物質	全廃
地球温暖化の防止	エネルギー起源CO2排出量	1990年基準 実質生産高単位25%削減 <カイト>2003年度以降 年-3%以上	2004年基準 各目生産高原単位18%削減 (年-3%以上)
	温室効果ガス(CO2以外) 排出量	2000年基準 総排出量35%削減	(対象無し)
資源の有効利用	廃棄物総発生量	2000年基準 原単位20%削減 <カイト>各目生産高 原単位 年-3%以上	2004年基準 原単位18%削減 (年-3%以上)
	廃棄物ゼロエミッション (最終処分量の削減)	全拠点ゼロエミ達成 <カイト>ゼロエミ継続 最終処分率0.7%以下	全拠点ゼロエミ達成 (国内最終処分率0.7%以下)
化学物質の管理	大気・水域への 化学物質排出量	2000年基準 排出量50%削減	2000年基準 排出量10%削減 (年-1%以上)

案

<代表取締役社長の責任と権限>

1. 当社の最高責任者であり、グリーン調達管理システム全般に関する責任と権限を有する
2. 環境方針を定める
3. 環境管理責任者を任命する
4. 役割及び権限を承認する

最高責任者  
代表取締役社長

環境保全委員会

内部環境監査員

<環境管理責任者の責任と権限>

1. グリーン調達管理システムの確立と推進管理する
2. グリーン調達に関する規程等の企画、立案
3. 内部監査の計画、実施
4. グリーン調達管理システムの実施状況を社長に報告する

環境管理責任者  
[管]長

環境事務局  
[管] (総ISG)

<環境事務局の業務機能>

1. グリーン調達関連事項の取り纏め、関係部門への情報伝達、教育

資材部

品質保証部

管理部

技術部

製造部

<業務機能>

1. 環境負荷の小さい部品等の調達推進
2. 新規/既存部品の環境規制物質調査 (資料入手)、管理
3. 副資材の環境規制物質調査 (資料入手) 管理
4. 部品置き場のグリーン部品の識別管理

<業務機能>

1. 受入部品分析
2. 製品認定時のグリーン部品の確認
3. 製品出荷保証
4. 不適合時対応
5. 部品ベンダー及び協力会社管理
6. サービス修理部品のグリーン・非グリーン品の識別管理

<業務機能>

1. 環境に係わる環境法令等の収集
2. データベースシステム構築 支援 維持管理

<業務機能>

1. 治工具環境対応
2. データベースシステム構築
3. 副資材の選定・申請
4. 新規事業での各取引先との環境規制物質に関する取り決め

<業務機能>

1. 製造工程での非グリーン品の識別管理
2. 製品出荷確認
3. サービス修理工程での非グリーン品の識別管理による混入・汚染防止

(4-1. グリーン調達3/7)

## グリーン管理のための関連規程

TTS-1-70-08(別紙2)REV0

グリーン調達  
ガイドライン  
[DM社]7102規程

要求項目	規程名	規程番号
1. 方針	「環境方針規程」、「経営者による見直し規程」	TTS1-51-02、TTS1-51-19
2. 計画策定		
2-1-1 法的、顧客及びその他の要求事項の明確化	「環境関連物質管理標準」	TTS1-70-04
2-1-2 管理範囲の明確化	「環境関連物質管理標準」、「グリーン管理基準規程」	TTS1-70-04、TTS1-70-07
2-2 目標の策定及び運営プロセスの計画	「環境目的・目標及び推進計画」	TTS1-70-09
2-3 組織体制、役割、責任の明確化	「グリーン調達推進体制及び規程体系」	TTS1-70-08
3. 実施及び運営		
3-1 運営管理		
3-1-1 設計・開発	「環境アセスメント管理規程」、「治具、試験器、調整機、作成規程」	TTS1-51-16、TTS4-20-14
3-1-2 含有情報入手・確認	「新規取引先開始手順規程」、「グリーン管理基準規程」、「製品の認定手続き規程」	TTS2-10-02、TTS1-70-07、TTS6-00-02
3-1-3 購買管理	グリーン調達ガイドライン 「取引先工場認定規程」 「生産委託先及び部品ベンダーグリーン管理状況調査監査実施規定」	TTS6-05-05 TTS1-70-06
3-1-4 製造工程		
3-1-4-1 受入確認	「グリーン管理基準規程」、「部品受入管理規程」	TTS1-70-07、M6-80-01
3-1-4-2 工程管理	「ディスプレイ式自動はんだ付装置管理規程」、「はんだごて管理規程」、「グリーン管理基準規程」	TTS7-10-06、 TTS7-10-00、TTS1-70-07
3-1-5 変更管理	「作業指示書作成規程」、「部品ベンダー4M変更申請・運用規程」	TTS4-10-07、TTS6-11-06
3-1-6 出荷時の確認	「出荷検査規程」	TTS6-30-02
3-1-7 不適合時の対応	「市場品質クレーム処理規程」	TTS6-40-01
3-2 人的資源のマネジメント	「環境管理教育実施規定」	TTS1-51-04
3-3 文書化及びその管理	「総則」、「環境記録管理」、「グリーン調達推進体制及び規程体系」	TTS0-00-00、TTS1-51-18、 TTS1-70-08
3-4 コミュニケーション	「グリーン管理基準規程」	TTS1-70-07
4. パフォーマンスの評価及び改善	「グリーン内部監査実施基準規程」、「環境保全委員会運営規程」	TTS1-70-07、TTS1-51-11
5. マネジメントレビュー	「経営者による見直し規程」、「環境目的・目標及び推進計画の設定・検証規程」	TTS1-51-19、 TTS1-51-09

(4-1. グリーン調達4/7)

## 規程類の情報共有（ホームページ掲載）

ホーム - 東芝メディア機器標準規程 - Microsoft Internet Explorer

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

戻る 検索 お気に入り

アドレス http://tomdssps/sites/tts/default.aspx

ホーム ドキュメントとリスト 作成 サイトの設定 ヘルプ

東芝メディア機器標準規程  
ホーム

共有ページの変更

ドキュメント  
画像  
リスト  
ディスカッション  
アンケート

社外秘・関係者外秘の情報です。無断で発信・公開してはいけません。

0007619

**お知らせ**

タイトル	更新日時
通知設定を行って下さい【全員対象】	2006/10/16 10:34
TTSホームページをリニューアルしました。	2006/07/26 8:50

新しいお知らせの追加

**マニュアル**

品質マニュアル REV36	2009/01/27 10:19
投稿者: 松本 慶治	
労働安全衛生マニュアル REV00	2008/11/18 18:53
投稿者: 松本 慶治	
環境管理マニュアル REV13	2008/11/07 17:26
投稿者: 松本 慶治	

新しいお知らせの追加

**TTSリスト**

新しいアイテム | フィルタ

タイトル	更新日時
◆ : 0.全般事項 (8)	

(4-1. グリーン調達5/7)

DM社とのグリーン化関係情報の共有 (デジタルメディアネットワーク社のグリーン調達関連資料)

**TOSHIBA**  
Leading Innovation >>>

お問い合わせ  
Japanese English サイトマップ

デジタルメディアネットワーク社 環境活動

デジタルメディアネットワーク社は、製品を“つくる”段階から、“つかう”ときのことを考え、使い終わってから地球環境に、あるいは資源に、“かえす、いかす”ことを心掛けています。

Environmental Activity

トピックス / ニュース

- 2009.01.05  
ホームページ(英語版)をリニューアルしました。
- 2009.11.04  
2009年11月7日(金)から11月9日(日)までの9日間限定で、「REAL SIMPLE cafe」を六本木ホテルズ内にオープンします。高品質で低消費電力、CO2排出を抑えたエコなテレビREGZA<レグザ>FH7000シリーズを展示します。ぜひ、会場でエコなテレビREGZA<レグザ>を体験してください。
- 2009.10.01  
ホームページ(日本語版)をリニューアルしました。

リンク

※ 関連サイトのリンクは別ウィンドウが開いて表示します。

- PC & ネットワーク社のグリーン調達
- モバイルコミュニケーション社のグリーン調達
- 東芝グループの環境経営
- Toshiba Digital Doors

東芝トップページ | 個人情報保護方針

Copyright © 2003-2009 TOSHIBA CORPORATION All Rights Reserved

**TOSHIBA**  
Leading Innovation >>>

お問い合わせ  
Japanese English サイトマップ

デジタルメディアネットワーク社 環境活動

マネジメント つくる つかう かえす・いかす **グリーン調達**

グリーン調達

デジタルメディアネットワーク社のグリーン調達  
グリーン調達資料

グリーン調達資料HDD用  
HDD向けの調達資料を掲載しています。

1. 説明資料

1-1 グリーン調達ガイドライン

更新日: 2008年4月26日  
Ver. 06\_01: グリーン調達ガイドラインの内容を一部修正しました。

変更内容

- 表紙に「東芝テック株式会社」を追加
- 2ページ目以降のフッターに「東芝テック株式会社」を追加
- 濃度の英訳を修正
- オフノ層級機物質の英訳を修正

グリーン調達ガイドライン Ver06\_01(PDF)

日本語版 (479KB)	英語版 (297KB)	中国語版 (554KB)
--------------	-------------	--------------

1-2 グリーン調達 含有濃度実測データ要求基準書

更新日: 2008年6月5日  
REV. 15a: 含有濃度実測データ要求基準書REV. 15の内容を一部修正しました。(本文の赤字部分で表記)

含有濃度実測データ要求基準書 REV. 15a(PDF)

日本語版 (560KB)	英語版 (378KB)	中国語版 (660KB)
--------------	-------------	--------------

Copyright © 2003-2009 TOSHIBA CORPORATION All Rights Reserved

(4-1. グリーン調達5/7)

グリーン調達選定

1. 全サプライヤに対して環境保全状況等調査実施（2007年6月）
2. 2008年度製造委託先RoHS適合監査計画及び実績

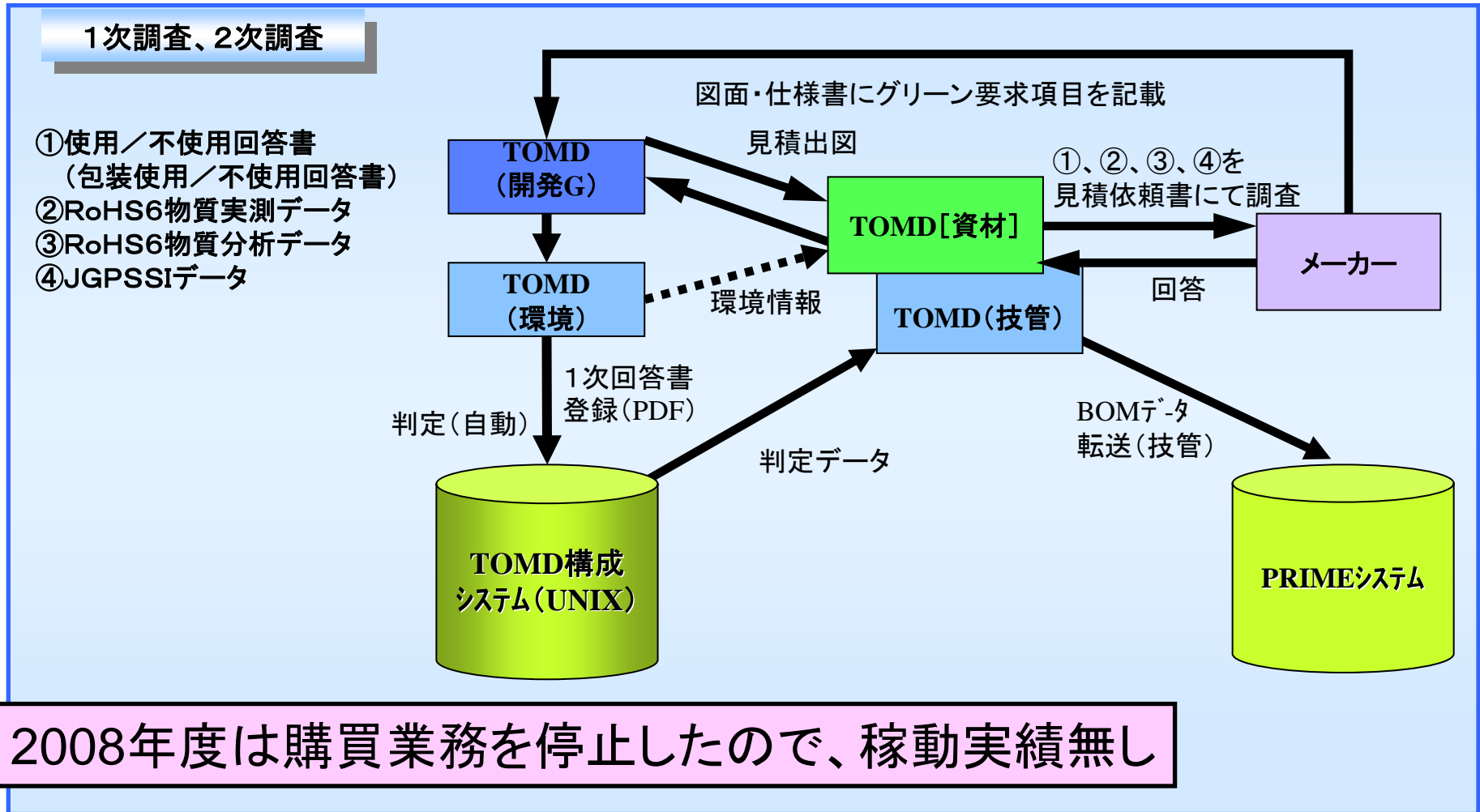
2008年度は購買業務を停止したため、実績無し

3. 2008年度部品サプライヤRoHS適合監査計画及び実績

2008年度は購買業務を停止したため、実績無し

(4-1. グリーン調達6/7)

## グリーンデータベース管理システム



(4-1. グリーン調達7/7)

## グリーン対応投資

蛍光X線分析装置導入（2006年5月導入）

光ディスクドライブ等の製品に対し各国の化学物質規制を遵守するため外部委託している「化学物質分析」を、自社に環境分析業務を取り込み、判定のスピードアップと費用の抑制を図る。

ISO17025取得へ向けた取り組み（2008年度）

国際規格であるISO17025 試験所規格を取得すべく準備を開始、2009年度取得を目指し準備中。

### 装置の概要

型名:JSX-3202EV LN2冷却機型

メーカー名:JEOL(日本電子株式会社)



(5-1. 環境報告書)

## 東芝メディア機器(株)「環境報告書2008」情報開示

「環境報告書2008」  
東芝メディア機器株式会社：  
会社概要ホームページにて  
2008年3月より情報開示

TOSHIBA  
TOSHIBA MULTIMEDIA DEVICES.  
ADVANCED TECHNOLOGIES FOR A BETTER LIFE.

ENGLISH VERSION | サイトマップ | お問い合わせ

東芝メディア機器株式会社

会社概要  
経営方針  
EDMS 事業  
お問い合わせ

### 投資方針

- 当社のあらゆる評価はお客様の目で行う。  
物事をお客様視点で考え、社内基準ではなく市場基準で判断する。  
また、お客様のご満足に貢献しない業務は排除する。
- ものづくりのプロとして生産効率を限りなく追求し、  
あらゆるサービスを提供する。  
製品設計から設計支援サービス、試作および品質サービスを国内外に展開する。
- 地球と共存するために環境に配慮し、社会全体に貢献する。  
環境保全に関する国際規格、法令、協定、業界指針、自主基準等を遵守します。

### 環境方針

東芝メディア機器株式会社は、「かけがえない地球」環境を健全な状態で、次世代に引き継いで行くことは、現存する人間の基本的義務」との認識を立て、環境保全活動を次により推進します。

- 環境保全に関する法令、規則及び関連する  
省令条例及び協定を遵守します。
- 環境目的・目標の設定及び見直しを行い、  
継続的な改善活動を実施します。
- 地域の自然環境に配慮し、汚染の予防に努めます。
- グリーン調達を推進し、環境に悪影響を及ぼす科学物質の  
適正な管理及び使用量の削減に取組みます。
- 省エネルギーを推進します。

環境報告書  
東芝メディア機器株式会社 環境報告書2008

## (5-2. 環境コミュニケーション)



### 地域の清掃活動

<実施日: 2008年9月29日>

CSR(企業の社会的責任)の一環として社会貢献活動の活発化と対外発信強化を図るため、地域の清掃活動を継続して行っています。





## 「緑の募金」運動の実施

＜実施日：2008年5月1日～31日＞

地球規模での森林、緑化推進として緑の募金活動を継続して行っています。



寄付先：  
青森県緑化推進委員会

寄付金： 841円



## 地球にやさしい青森県推進事業所に登録されました

当社が青森県が主催する「地球にやさしい青森県推進事業所」に登録されました。これにより県のホームページや広報等を通じて積極的にPRされる事になりました。またシンボルマークを使用することも出来るようになりました。（2008年11月）



(5-3. 教育)

## 2008年度環境教育実施状況

教育内容	実施時期	講師先・講師者	受講人数
有機溶剤主任作業者講習会	2008年6月 2009年2月	(社)青森県労働基準協会	4名
一般教育	各部門にて実施	部門環境管理責任者	全従業員
特定作業者教育	各部門にて実施	部門環境管理責任者	溶剤取扱い者

## 各種月間行事

全国的に展開される各種月間に合わせて従業員に対する環境についての啓蒙活動を実施。

### ▼ 環境月間(6月)

- ・環境月間ポスターの掲示
- ・環境マニュアルの改定
- ・規程の再徹底

### ▼ 3R推進月間(10月)

- ・キャンペーンポスターの掲示
- ・社内メール等による意識の啓蒙
- ・工場周辺のごみ拾い

### ▼ 省エネルギー月間(2月)

- ・地球温暖化防止のための「暖房設定温度20℃」を実施
- ・設定温度の巡回確認による再徹底。

## 東芝メディア機器(株)環境特徴活動事例

【2005年度】 6月:テストディスク1枚当たりの使用枚数削減

【2006年度】 1月:クリーム半田の使用時間延長による廃棄削減(8H→14H)

8月:金山部品センターの本社集結(電力使用量削減)

11月:洗浄剤の代替化(IPA→ミックスエタノール)

2月:PUH製造ライン更衣室入り口ファンゲート撤去による  
消費電力の削減 →年間約1400kwhの削減

【2007年度】 4月～:蛍光X線分析装置でのISO/IEC17025取り組み  
及びシステム構築活動

4月～:既存設備リユースによる製作への取り組み活動

→既存設備を新機種の設備に改造し転用する

7月:森林保護、廃棄物発生量抑制を目的に、食堂で使用されている割り箸廃止

8月:全従業員参加での地球温暖化防止への取り組み活動

→エコバック無料支給

11月:部品倉庫の蛍光灯部分消灯による消費電力の削減

→年間約2046kwhの削減

【2008年度】 10月:3R活動の一環として事務用品、文房具の回収実施、5号1階の総務部門と  
3階の出入り口付近に回収箱を設置した。

2月:エアコンの温度設定の一斉確認を実施、暖房20℃以上の設定場所再指導実施

**-END-**